

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

Table with 2 columns: 学校名 (学校名) and 伊万里市立伊万里小学校. Rows include 前年度 評価結果の概要, 学校教育目標, and 本年度の重点目標.

4 重点取組内容・成果指標

Main evaluation table with columns: 重点取組, 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. Includes sub-section (1)共通評価項目 and rows for 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗状況と見通し		実施結果		意見や提言		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○「きらきら伊小っ子プロジェクト」の推進	○7つの具体的な目標の実践 ・返事が響く ・挨拶が響く ・明るい声と歌声が響く ・感謝の言葉があふれる ・思いやりにあるれる ・笑顔があふれる ・活気にあふれる	○「返事や挨拶がきちんとできている」と回答した児童90%以上 ○「『ほかほか言葉』や『ありがとう』がよく言えるようになった」と回答した児童80%以上	・7つの目標について、校内やコミュニティセンター等に掲示する。 ・「ほかほか言葉運動」と「ありがとう運動」を展開する。	B	・7つの目標を全教室や校内の目につきやすいに掲示し、意識化を図った。全員が意識しながら取り組むことができています。 ・児童の挨拶が声元気になってきた。」という地域の方からの声を聞くようになってきた。 ・代表委員会により全校で取り組んだことで、「児童は、『ほかほか言葉』や『ありがとう』等、思いやりの言葉を使おうという意識が高まった。	B	・返事や挨拶が「できている」「大体できている」と答えた児童が約94%とR4よりも6%高くなった。 ・「児童は、返事や挨拶がきちんとできている」と回答した教員は約60%となった。児童の回答と教職員の回答に大きな開きがあり、課題である。 ・「ほかほか言葉」や「ありがとう」が「よく言える」「大体よく言える」児童が約92%と昨年度よりも高くなっている。担任だけでなく、級外も同じように重点的に指導を行えたこと、共	A	・学校に活気があり、子供たちも元気に挨拶をしてくれました。	・各学年主任 ・教頭
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○「特別支援に関する専門性が向上した」と肯定的な回答をした教員70%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・ケース会議を開催したり、情報共有の機会を設定したりする。	B	・特別支援教育に関する研修を開き、発達障害への理解や通常学級における支援の方法について、理解を深めることができた。 ・ケース会議を4回、巡回相談を3回実施し、その時だけでなく継続的な支援の在り方について考えることができた。	B	・気になる子研、ケース会議、巡回相談などを適宜することで、児童理解や具体的な支援方法を共通理解することができた。 ・「特別支援に関する専門性が向上した」と回答した教員が96%となった。	A	・子供たち一人一人を見るのは大変だと思いますが、頑張っていたきたいと思います。	・特別支援コーディネーター ・教育相談主任
○地域・保護者との連携	○家庭での役割や責任を明確にしていく ○コミュニティ・スクールの周知と連携活動の推進	○家庭での教育についてのアンケート(特に、朝食、家庭学習、あいさつ)の回答が、昨年度結果以上 ○コミュニティ・センター行事や地域行事への参加率が昨年度以上	・家庭学習アンケートを実施し、実態を把握したり、「家庭学習のすすめ」を発行したりする。 ・コミュニティ・センター行事や地域行事への参加を促す。	B	・家庭学習アンケートを12月に実施し、現在分析中である。分析結果をもとに次年度の校内研につなげ、生かしていきたい。 ・地域行事の参加者が増えている。今後さらに連携を深め、活性化させていきたい。	B	・家庭学習アンケートを分析した結果、保護者の意識も高まってきていることが分かった。さらに次年度の校内研につなげ、生かしていきたい。 ・育友会行事の精選が行われ、十分な実施ができた。しかし、活動が難しい取組もあるため、今後見直しが必要である。	B	・コミュニティセンターの行事のチラシを配布していただき、ありがとうございました。	・校内研(家庭学習部) ・育友会担当者
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5	総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が明け、少しずつ学校の様子を保護者や地域の方々に実際に見ていただく機会が持てるようになってきた。来年度は、昔に戻すのではなく、意義などもう一度確認しながら、業務改善の視点を持ちながら、地域と繋がる活動を活性化していく。 ・「いじめの未然防止、早期発見、対応」については、今後も職員の意識をさらに高めていく。学校での取り組みについて、保護者へもっと知らせていきたい。 ・啓成中学校区のコミュニティ・スクールが始まって3年が経過した。今後、地域との連携をさらに進め、伊万里小学校独自の取り組みということを考えていきたい。 								